

西部テクノ・県労福協

介護職養成へ職業訓練

徳島県立西部テクノスクールと県労働者福祉協議会は9月2日から、美馬市穴吹町の穴吹農村環境改善センターで、外国人求職者を対象にした介護初任者研修科を開設する。県西部の介護人材確保が目的で、県が外国人向けの職業訓練を行うのは初めて。



が、介護現場で必要な日本語やビジネスマナーを教える。

11月以降は介護福祉士や介護支援専門員(ケアマネジャー)らによる講義、介護施設での実習を行う。面接対策、履歴書の書き方などの就職支援も実施する。

1月9日までの平日午前9時～午後4時25分。9、10月は、日本語教育に取り組む市民団体「JTMとくしま日本語ネットワーク」の日本語教師を対象とした介護職向

美馬に初任者研修科

9月開設 実習や日本語指導

けの日本語講座や初任者研修を開いてきた。ただ、県西部で同様の講座はほとんどない上、介護職の人材不足も深刻化しており、県立西部テクノスクールが協議会に委託して実施することにした。

県内に定住する外国人が対象で、日本語の読み書きと日常会話がある程度できるのが条件。8月5日までに、居住地を管轄するハローワークを通じて申し込む。定員15人で受講料無料(テキスト代別途必要)。問い合わせは協議会へ(電話088-9922)09200)。

(新居和人)